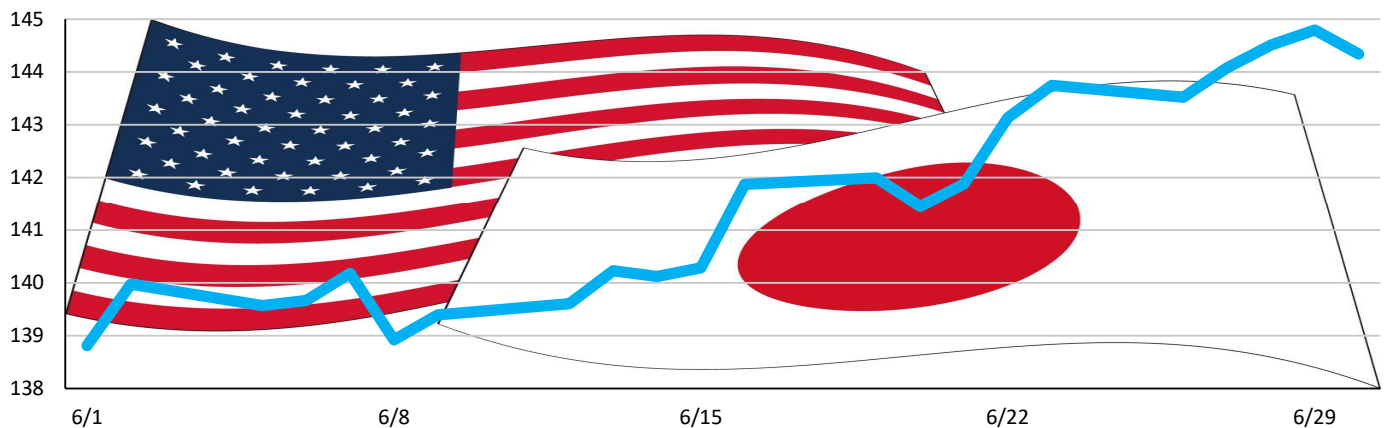


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**6月のドル円相場は138円半ば～145円前半で推移。各地区連銀総裁の利上げ停止支持発言を受けたドル売りや、良好な米経済指標発表によるドル買いが交錯していたが、米FOMCで利上げ継続姿勢が示されたことでドル円は141円台半ばに達した。その後、ECBの利上げを受け一時140円を割り込んだものの、日銀が大規模金融緩和政策を継続したことや、パウエル米FRB議長が議会証言で、年内あと2回の利上げが適切、と年内利下げを否定したことで再びドル買いが強まった。円安けん制発言を警戒する動きも見られたが、米GDP確定値が予想以上に上方修正されるなど、強い米経済指標を背景にドル買いが進み、約7ヶ月ぶりに145円台をつけた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開：**パウエル米FRB議長が年内にあと2回の利上げを示唆していることに加え、日銀が金融緩和政策を継続していくことから、今後も日米金融政策の方向性の違いを意識した円安ドル高の動きが続いていきそう。ただ節目の150円が近づいてきたことで、介入警戒感はより一層高まって来るだろう。為替介入に関する要人の発言頻度も増えてくる可能性があるため、急な動きに対応できるようにしておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
7 / 18 (火)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
7 / 27 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
7 / 27 (木)	21 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
7 / 28 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
8 / 3 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
8 / 4 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
8 / 10 (木)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。